

## 令和４年度以降の相模原市障害者等移動支援事業の変更点について

## １ 単価の変更

従前は事業所の所在地ごとに単価が変動していましたが、令和４年度以降は事業所の所在地に限らず、一律１０円としました。

現在	令和４年度以降
厚生労働大臣が定める一単位の単価(平成１８年厚生労働省告示第５３９号)に定める居宅介護の地域区分ごとの単価	一律１０円

## ２ 単位の変更

上記１（単価の変更）による単価の減額分を単位に転化しました。なお、転化するに当たって地域区分は相模原市の４級地（１０．７２）で算出しています。

## 【算出方法】

- ①現在の単位に１０．７２を掛け（小数点以下の端数は切り捨て）、現在の給付額を算出
- ②１０円未満を切り上げて、令和４年度以降の給付額を算出
- ③１０で除して、令和４年度以降の単位を算出

<参考例>

令和４年度以降の「身体介護を伴う場合」で「３０分まで」の単位

- ①現在の単位（２５６単位）×１０．７２＝２，７４４．３２÷２，７４４円
- ②２，７４４→２，７５０円
- ③２，７５０÷１０＝２７５単位

	現在		令和４年度以降	
利用時間	身体介護を伴う場合	身体介護を伴わない場合	身体介護を伴う場合	身体介護を伴わない場合
２０分を超え ３０分以下	２５６単位	１０５単位	２７５単位	１１３単位
３０分を超え １．０時間以下	４０５単位	１９９単位	４３５単位	２１４単位
１．０時間を超え １．５時間以下	５８９単位	２７８単位	６３２単位	２９８単位
１．５時間を超え ２．０時間以下	６７２単位	３４８単位	７２１単位	３７３単位
２．０時間を超え ２．５時間以下	７５５単位	４１８単位	８１０単位	４４８単位
２．５時間を超え ３．０時間以下	８３９単位	４８８単位	９００単位	５２４単位
３．０時間を超える 時間	３０分ごとに ８３単位	３０分ごとに ７０単位	３０分ごとに ８９単位	３０分ごとに ７５単位

### 3 加算単位の変更

従前、夜間及び早朝加算は所定単位数の100分の25、深夜加算は所定単位数の100分の50としていましたが、令和4年度以降はそれぞれ一律の単位数としました。

算出方法は夜間及び早朝加算の場合、令和4年度以降の「3.0時間を超える時間」の単位の100分の25、深夜加算の場合、100分の50としました。



なお、小数点以下の端数は四捨五入しています。

<参考例>

令和4年度以降の「身体介護を伴う場合」の「夜間加算」の30分当たりの単位

3.0時間を超える利用時間30分当たりの単位（89単位）

$\times 25 / 100 = 22.25 \div \underline{22 \text{ 単位}}$

現在		令和4年度以降
夜間(午後6時から午後10時まで)又は早朝(午前6時から午前8時まで)に移動支援を行った場合は、1回につき所定単位数の100分の25に相当する単位数(小数点以下の端数は四捨五入)		夜間(午後6時から午後10時まで)又は早朝(午前6時から午前8時まで)に移動支援を行った場合は、次の各号に掲げる区分に応じ、利用時間30分当たり、それぞれ当該各号に定める単位数を所定単位数に加算 (1) 身体介護を伴う場合 22単位 (2) 身体介護を伴わない場合 19単位
深夜(午後10時から午前6時まで)に移動支援を行った場合は、1回につき所定単位数の100分の50に相当する単位数(小数点以下の端数は四捨五入)		深夜(午後10時から午前6時まで)に移動支援を行った場合は、次の各号に掲げる区分に応じ、利用時間30分当たり、それぞれ当該各号に定める単位数を所定単位数に加算 (1) 身体介護を伴う場合 45単位 (2) 身体介護を伴わない場合 38単位

以 上